

中国の自動車輸入の現況

岡山県上海事務所 所長 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所)

中国の自動車輸入の現況

中国汽車工業協会の発表によると、2014年の中国の自動車販売台数は前年比6.9%増の2,349万台で過去最高となりました。同時に自動車の輸入も拡大しており、2014年1月～10月の輸入台数は117万3,094台にも達しています。中国ではHSコード(※)8701～8706系、8716系および8429系に含まれる自動車完成車と車輪式移動機械(特殊車輛など。トラクター、牽引車、雪上車類は含まず。)を輸入管理の対象としています。オールドカー(クラシックカー)、中古車、右ハンドル車は、国の規定で輸入禁止となっています。

(※) HSコード：国際貿易商品の名称及び分類を世界的に統一する目的のために作られたコード番号

自動車完成車が輸入可能な港

中国は現在、完成車の輸入可能な港を以下の14の港、空港、内陸港に限定しています。

海港：大連新港、天津新港、上海港、黄浦港
南寧欽州保税港、福州江陰保税港、
寧波梅山保税港区、江蘇張家港保税港区、
青島前湾保税港区

空港：北京首都国際空港

内陸港：満州里、深セン(皇崗)、新疆阿拉山口、
新疆霍爾果斯

ただし、実際の輸入は全体の40%を天津新港が占め、続いて上海港が33%、黄浦港が24%となっており、その他の輸入港のシェアは3%を占めるに過ぎません。

輸入完成車の種類

2014年1～10月間に輸入された完成車の内

訳を排気量別に見ると、2000CC～3000CCクラスの中型車が、全体の52.2%(61万2,071台)を占め、対前年比39.0%の増となっています。2000CC以下の小型車のシェアは40%(45万6,090台)で対前年比17.7%の増、3000CC以上の大型車のシェアは、8.9%(10万4,933台)で対前年比1.8%の減となっており、中型車の人気が高まっていることがうかがえます。

原産国別では、ドイツ21%、続いてアメリカ19%、日本18%、イギリス11%、韓国8%で、その他23%となっています。

ブランド別では、BMW、メルセデスベンツ、アウディ、フォルクスワーゲン、ランドローバー、レクサスなどの高級車が完成車輸入総額の57%も占めており、特にBMWのシェアは14.7%にも達します。

自動車輸入に関する税関の新たな試み

完成車を含む各種輸入品の増加に伴い、通関等で利便性向上のための新たな試みが始まっています。上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、湖北省、四川省、雲南省、貴州省、湖南省、江西省の16税関では、すでに通関手続の一体化が始まりました。上記の16税関を1つの税関と見立て、いずれか1つの税関にて登録を行えば他の税関でも情報が共有され、現地税関に足を運ぶことなく、どこでも通関手続を行うことができるようになりました。

完成車の並行輸入(商品輸入の正式な契約締結を行っていない第三者による輸入)も可能になりましたが、本年1月に欧米メーカーが試験的に初輸入したばかりであり、各種制度調整はまだ手探りの状態となっています。日系各社も完成車の並行輸入を検討しており、近い将来、中国で完成車の並行輸入制度が整備され、より多くの海外生産車種が発売されるようになることでしょう。

(2015年3月)